別記様式第3号(第9条関係)

動物使用実験計画書

年　　月　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 動物種(注1) | | | |
| 作成・接種 | 導入・接種対象 | 卵　胚　胎仔　成体　その他(注3)(　　　　　　　) | |
| 導入予定の供与核酸分子又は接種予定の遺伝子組換え生物(ウイルスを含む) | | |
| 導入・接種方法 | | |
| 譲り受け | 供与者 | | (譲渡年月日　　　　　　承認者(注2)　　　　　　) |
| 譲渡段階 | | 卵　胚　胎仔　成体　その他(注3)(　　　　　　　) |
| 導入済みの供与核酸分子又は接種済みの遺伝子組換え生物(ウイルスを含む) | | |
| 飼育場所(注4) | | | |
| 飼育方法(逃亡防止設備、排せつ物、飼育水等の消毒又は焼却等)(注5) | | | |
| 個体管理方法 | | | |
| 動物個体の子孫の管理方法 | | | |
| 実験終了後の処置 | | | |

計画書記入要領

　注1　「動物種」は、系統(Strain)まで記入すること。系統が明らかでない動物についてはその出所を付記することが望ましい。

　注2　「承認者」は、供与者の動物作成実験を承認した学長等

　注3　作成又は譲渡段階において、該当する項目がない場合は、「その他」を選択し、卵母細胞、精子、培養細胞等具体的に記入すること。

　注4　「飼育場所」は、名称、所在地、飼育区画の面積及び拡散防止措置の設備について記入すること。

　注5　「飼育方法」において、逃亡防止設備、排泄物・飼育水等の消毒又は焼却等の拡散防止措置を記入すること。このほか、実験室、実験区画、実験区域、又は飼育区画において当該第二種使用等に関係しない動物が飼育されている場合には、当該動物の飼育の状況についても併せて記載すること。